

薬局における使用済注射針取扱い安全指針と針刺し事故防止活動

尾久店
○鈴木 光

【目的】

本年 6 月に「使用済み注射針廃棄マニュアル」を作成した。更に、全職員への安全管理の周知徹底に加え、患者様、そしてそのご家族の適正な廃棄処理方法、針刺し事故の防止及び事故時の対応方法の呼びかけが必要ではないかと考えた。「患者様とご家族向けのパンフレット」を作成、活用する事により正しい知識を持っていただくことを目的とした。

それに伴い、現状として患者様やそのご家族の安全性や事故についての情報には乏しいことから 9 月 2 日から 10 月 5 日までアンケートの実施し、現状把握の調査、研究をし、今後の改良へ繋げることも目的とした。

【方法】

アンケートの実施：受付～服薬サポートまでの待ち時間を活用

アンケート対象者：インスリン製剤が処方されている患者様とそのご家族

- ①ご家族の事故の有無
- ②事故時の対応方法の知識について
- ③パンフレットに関するご意見

以上の項目を回答していただいた。

【結果】

アンケート実施期間中にインスリン製剤の処方箋をお持ちになった約 9 割の患者様から回答をいただくことができた。

- ① 患者様ご自身、ご家族の針刺し事故の発生件数は極めて低い。
- ② 事故発生時の対応について 9 割強の患者様が知らないと回答。
- ③ パンフレットに関しては否定的な意見はなく、何かしらの役に立つと捉えていただいた患者様が多かった。

【考察】

患者様の針刺し事故が想定より少ない結果となった。これは病院での治療入院等で行われる手技の確認や指導が良いものと推察される。事故時の対応については患者様ご自身で使ったものを自らの体に刺してしまっても影響はないと考えていることから、事故時の対応について知らないという結果になったと思われる。またご家族など第 3 者が誤って刺してしまうということを想定していないこともアンケート調査から垣間見えた。

今回のアンケート結果を基により良いパンフレットの作成・改良に取り組んでいきたいです。また薬局、薬剤師として今後どんな活動ができるのか、何が患者様に必要なのかを検討していきたいと思えます。